

# 令和4年度 事務事業評価シート（1）

## [ 令和3年度事務事業 ]

特別会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）			事業番号	011-060
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	長寿支援
				課	

### I. 基本情報

事業の位置付け								
1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	
			有	取組の方向性	①自立支援・介護予防・健康増進の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	前期高齢者の要支援認定率			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8	
		寄与するKPI	有・無	取組	地域包括ケアシステムの推進			
		有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3（2021）～5（2023）年度）						
3	事業開始年度	平成 18 年度	点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠（根拠法令、条例等）	介護保険法						
事業の概要								
5	事業の実施主体（実施主体となる団体等）	本庁・各区						
6	事業の対象（対象とする人や物、対象数）	65歳以上の高齢者（要介護認定を受けていない高齢者約17万6千人）			対象数	約17.6人	単位	万人
7	事業の目的（事業実施によりめざす状態）	高齢者ができる限り自立した生活を送れるよう、要支援や要介護状態の予防（介護予防）を図ることを目的としている。						
8	事業内容（目的を達成するための手段）	<p>保健センターまたは地域会館において、高齢者等に対し介護予防にかかる知識の普及啓発を行う。事業内容は以下のとおり。</p> <p>①げんきあっぷ教室：老人福祉センターや地域会館等で運動指導士による運動機能向上のプログラムを実施。</p> <p>②低栄養改善：管理栄養士等による低栄養予防のための講座を実施。</p> <p>③口腔機能の向上：歯科衛生士や言語聴覚士等による口腔機能向上のための講座を実施。</p> <p>④複合型介護予防教室：認知症を予防するための取組を中心に、運動機能向上、低栄養改善、口腔機能向上のプログラムを実施。</p> <p>⑤介護予防健康教育：保健師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による介護予防や健康づくり全般に関する講座を実施。</p> <p>⑥いい歯自慢コンテスト：80歳以上で自分の歯を20本以上持つ方を対象に、歯科医師による審査を実施し、表彰する。</p>						
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載						
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	セントラルスポーツ（株）、（株）元気サポート、NPO法人みんなのwell.net、（社福）大阪府社会福祉事業団特別養護老人ホーム美原荘						
10	公民連携・協働事業							

### II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定							
11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		目標	目標	点検年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和7年度
	参加延人数	人	目標値	36,320	36,320	36,320	36,320
	事業内容9の①～⑥の参加延人数		実績値	5,794	7,295		
			達成率	16%	20%		
	当該指標を選定した理由	継続して介護予防に取り組む高齢者が増えることで、健康寿命の延伸につながる。					
	目標値の設定根拠・算出方法	介護予防教室・健康教育・出前講座の開催回数					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標		
			令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	開催回数	回	目標値	1,753	1,000	1,500	
	事業内容9の①～⑥の開催回数		実績値	457	600		
			達成率	26%	60%		
	当該指標を選定した理由	保健センターや地域等で介護予防に関する教室や講座に参加する機会を提供することで、地域の介護予防活動への参加を促すため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	介護予防教室・健康教育・出前講座等の参加延人数。各教室定員の合計数を目標値とする。					

## 令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	介護予防普及啓発事業（本庁）	事業番号	011-060
-------	----------------	------	---------

### Ⅲ. 投入量

#### 事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

事業費 (a)	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13 財源内訳	24,286	12,324	39,803	16,148	30,484
国支出金	6,071	3,081	9,951	4,037	7,620
府支出金	3,036	1,541	4,975	2,019	3,810
市債					0
その他（被保険者保険料）	12,143	6,161	19,902	8,074	15,242
受益者負担金(使用料、手数料等)					0
一般財源	3,036	1,541	4,975	2,018	3,812
14 人件費 (b)	2,430	2,460	2,460	2,460	2,460
15 年間経費(c)=(a)+(b)	26,716	14,784	42,263	18,608	32,944

#### 事業費の内訳

（単位：千円）

事業費内訳	項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	決算				R3	決算		
16	地域型げんきあつが教室委託料	R3	決算	9,058	1,132	その他報償費	R3	決算	2,531	316
		R4	予算	17,230	2,154		R4	予算	2,845	356
	複合型介護予防教室委託料	R3	決算	2,506	313	会場賃借料・研修会参加負担金	R3	決算	219	27
		R4	予算	6,840	855		R4	予算	492	62
	堺コッカラ体操リーダー養成講座委託料	R3	決算	293	37		R3	決算		
		R4	予算	300	37		R4	予算		
	教室運営必要経費（消耗品・印刷製本費・通信運搬費等）	R3	決算	1,111	139		R3	決算		
		R4	予算	1,656	207		R4	予算		
	健康教育講師謝礼金等	R3	決算	430	54		R3	決算		
		R4	予算	1,121	141		R4	予算		

### Ⅳ. 事業の効率性

#### 単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
		① 委託教室の開催回数	回
② 上記①にかかる年間経費	千円	9,627	11,857
③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	27,824	25,720

備考（算出についての説明等） 地域型げんきあつが教室・複合型介護予防教室・コッカラリーダー養成講座の委託教室の開催に係る単位当たりの経費

### Ⅴ. 評価

#### 費用対効果に係る所見

18 介護予防に取り組む機会の提供として、委託による介護予防教室を開催したが、コロナ禍により対面での教室が当初予定した回数の6割程度しか開催できなかった。また、対面形式の教室についても、3密を避けるため、定員を従来の半数に減らして実施したため、参加人数はコロナ禍以前よりは少なかったものの、令和2年度に比較すると開催回数が25%増加した分参加人数は若干増加した。また、1教室開催あたりの経費も約8%程度下がった。

その他、コロナ禍で感染防止の観点からITCを活用した教室を開催した。開催にあたっては、事前にスマホ教室を開催するなど高齢者でも参加できるよう配慮した。

#### KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 高齢者においては、身近な通いの場で、仲間とともに定期的に介護予防に取り組むことが重要であるが、令和3年度も新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かず、感染拡大防止の観点から、教室の中止や開催しても半分の人数での開催となった。今年度の新たな取り組みとして、ICTを活用した介護予防の取組としてオンラインでのコッカラ体操の教室を開催し、対面式の介護予防教室への参加を不安に感じる高齢者も参加することが出来た。新しい生活様式の中、自立した生活を継続できるよう、介護予防の推進に寄与した。